

アンケート結果の概要

………… アンケート結果から市民・企業・行政の具体的な行動へ ……………

1-1. 調査の目的

本調査は、「太田市環境基本計画」の策定に向けて、市民や事業者などの環境問題への関心や環境保全活動への取組状況、また行政に対するニーズなどを把握し、計画策定のための基礎資料を作成することを目的とする。

1-2. 調査機関

太田市 環境部 環境政策課

1-3. 調査の概要

| | 市民 | 事業所 | 農業者 | 小学生 | 中学生 | 高校生 |
|------|----------------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 調査期間 | 平成18年2月9日～平成18年2月23日 | | | | | |
| 調査対象 | 1,000名 | 300社 | 160名 | 236名 | 206名 | 226名 |
| 調査方法 | 郵送・手渡 | 郵送 | 郵送 | 手渡 | 手渡 | 手渡 |
| 回収数 | 566通 | 121通 | 88通 | 231通 | 194通 | 213通 |
| 回収率 | 56.6% | 40.3% | 55.0% | 97.9% | 94.2% | 94.2% |

1-4. 抽出方法

【市民】（郵送700名）

- ①対象人数：700名（住民基本台帳より）
 - ②対象年齢：18～29歳を100人、30～39歳を150人、40～49歳を150人、50～59歳を100人、60～69歳を100人、70歳以上を100人
 - ③性別構成比：性別人口構成比を適用
 - ④地域構成比：地域人口構成比を適用
- ※300名（手渡分）については、市民委員および市職員に協力をお願いし、地域住民への調査を実施

【事業所】

製造業 150 社、非製造業 150 社とし、下表に示す事業所数を抽出。

| 製造業 | | 非製造業 | |
|-----|-------|----------|-------|
| 製造業 | 95 社 | 卸・小売業 | 55 社 |
| 建設業 | 55 社 | サービス業 | 45 社 |
| | | 運輸業 | 25 社 |
| | | 金融保険業 | 15 社 |
| | | 情報・ガス・組合 | 10 社 |
| 合計 | 150 社 | 合計 | 150 社 |

【農業者】

農業委員会に登録されている農業者データより、下表に示す農業者数を抽出。

| 旧太田市 | 旧新田町 | 旧尾島町 | 旧藪塚本町 |
|------|------|------|-------|
| 40 人 | 43 人 | 40 人 | 37 人 |

【児童・生徒】

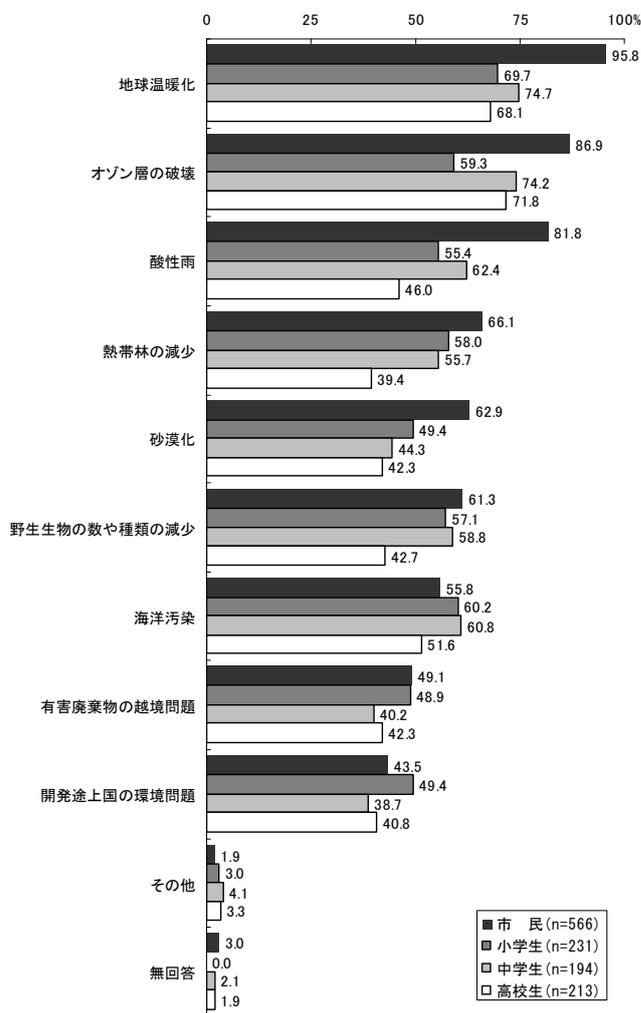
小学 5 年生、中学 2 年生、高校 2 年生を対象とし、各学校 1 クラスへ調査を依頼。

| 小学校（5 年生） | 中学校（2 年生） | 高校（2 年生） |
|-----------|-----------|----------|
| 中央小学校 | 西中学校 | 太田女子高校 |
| 葦川西小学校 | 休泊中学校 | 太田工業高校 |
| 南小学校 | 毛里田中学校 | 太田商業高校 |
| 強戸小学校 | 生品中学校 | 新田暁高校 |
| 木崎小学校 | 尾島中学校 | 常磐高校 |
| 世良田小学校 | 藪塚本町中学校 | |
| 藪塚本町小学校 | | |

◇ アンケート代表的な設問 ◇

《市民・高校生・中学生・小学生アンケート共通項目》

①地球環境問題についての関心度（複数回答）

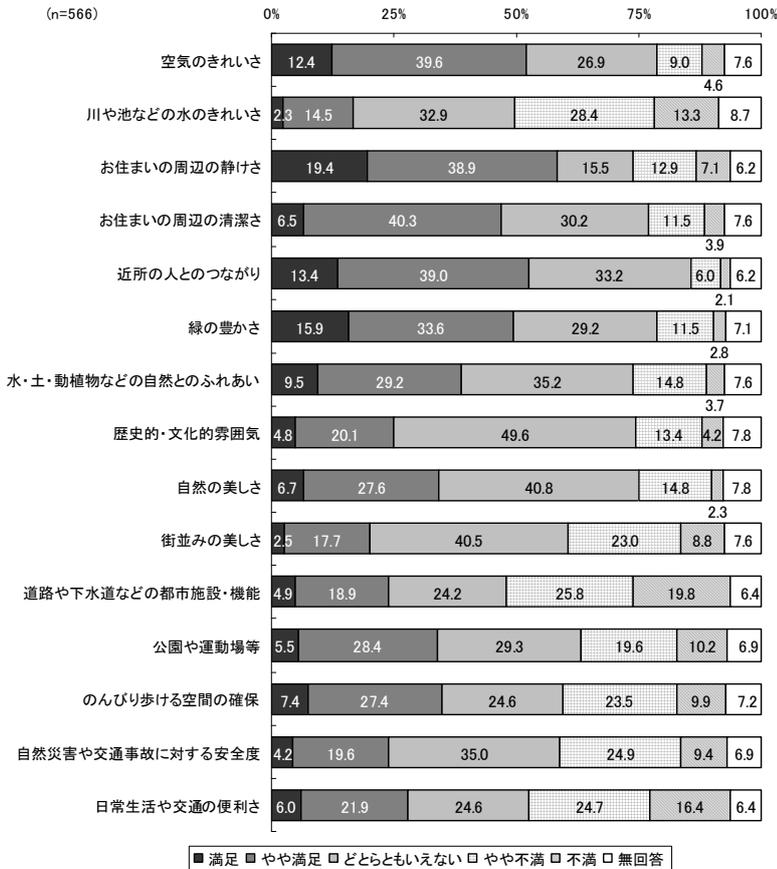


地球環境問題について各世代とも「地球温暖化」「オゾン層の破壊」への関心が高い結果となっています。

市民では、「地球温暖化」、「オゾン層の破壊」、「酸性雨」で、8割を超える方が関心を示しています。

小学生、中学生、高校生の地球環境問題に対する関心度を比較すると、小中学生に比べ、高校生の関心度が低い結果となっています。

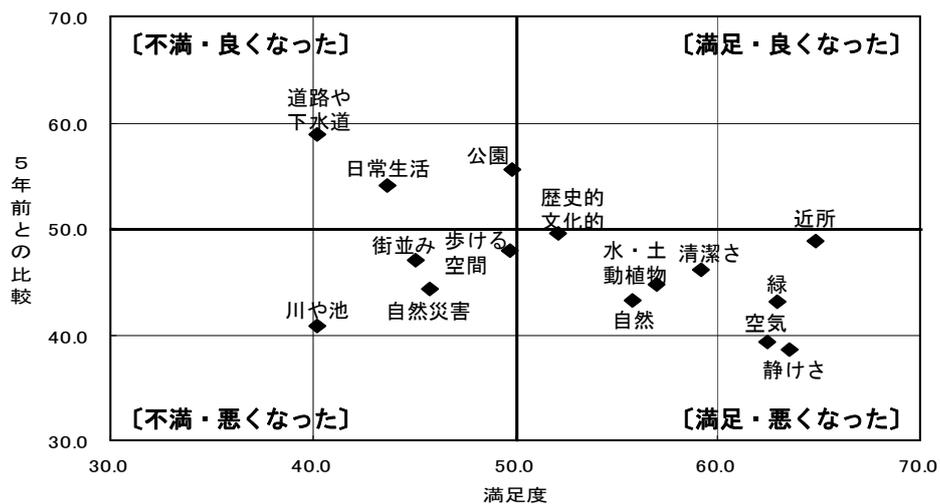
② 《市民アンケート》身のまわりの環境に対する満足度



市民の満足度は、「空気のきれいさ」「周辺の静けさ」「近所の人とのつながり」「緑の豊かさ」が、「満足、やや満足」をあわせると比較的高く、反対に「川や池などの水のきれいさ」「道路や下水道などの都市施設・機能」「日常生活や交通の便利さ」は不満がやや多いようです。

現状で満足度の高い自然や生活環境を維持・保全しつつ、生活をさらに便利にしてくれる都市施設や機能の充実が望まれているようです。

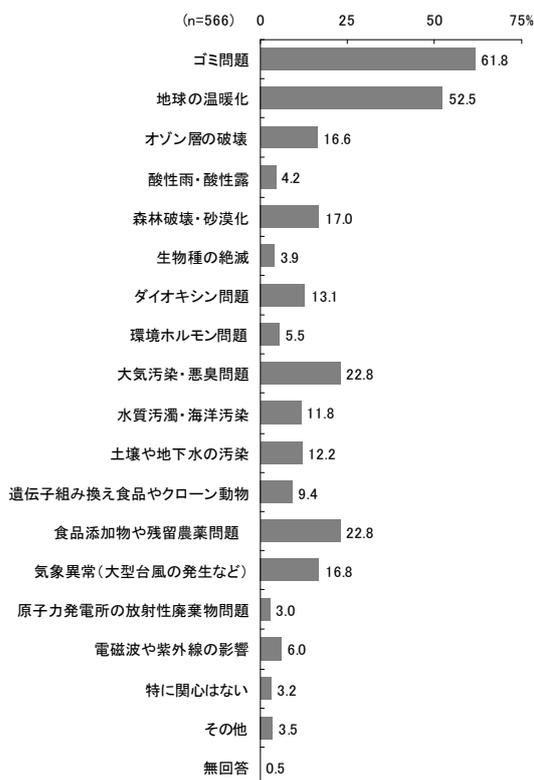
③ 《市民アンケート》身のまわりの環境について、5年前と比較した環境変化と満足度



身のまわりの環境について、5年前と比較して「良くなって、満足している」に該当する項目はなく、「道路や下水道などの都市施設・機能」は、現実的に「良くなっているが、まだ不満」が多いようです。また、「周辺の静けさ」は、「満足はしているが、悪化している」と感じているようです。「川や池などの水のきれいさ」においては、「悪くなっていて、当然不満がある」と感じており、市民にとって、水辺の悪化は、イメージが良くないようです。

◇ 体系図について ◇

④ 《市民アンケート》 環境問題に関して急いで改善すべき問題（複数回答）

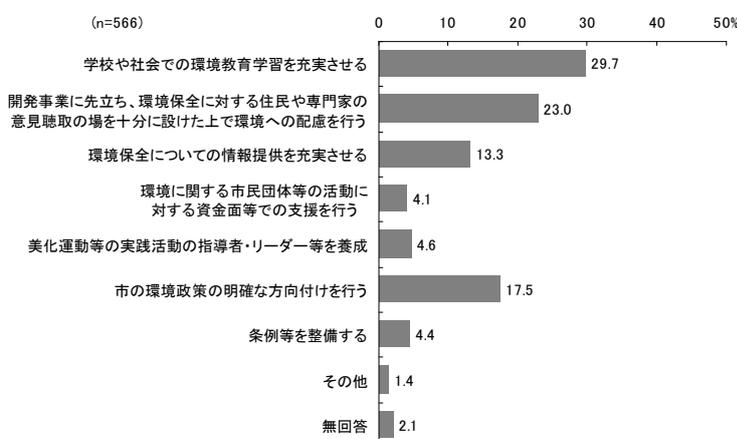


【体系図の設定】

「ゴミ問題」が6割以上、「地球の温暖化」が、5割以上、次いで「大気汚染や悪臭問題」、「森林破壊・砂漠化」で併せて約4割程度の方が、急いで改善すべき問題と考えていることがわかりました。

そこで、体系は、ごみなどの循環を図る「循環型社会の構築」、地球規模の温暖化に対し、「地球環境の保全」、身の周りの緑の保全や生活環境の保全として「みどりの保全と創造」を環境みらい像としました。

⑤ 《市民アンケート》 環境問題に対して市に望むこと

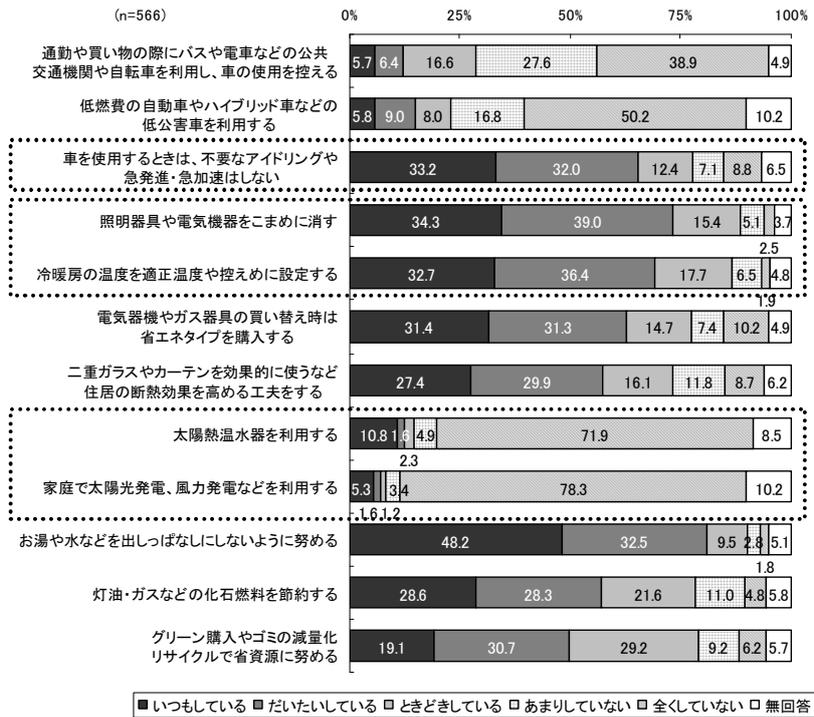


【体系図の設定】

環境問題への市の関わり方について、「学校や社会での環境教育学習を充実させる」を約3割の方が望んでいるので、「環境みらい像」となれば、「環境教育・学習の推進」を行政としても、取り組む必要があると考え、体系に取り込みました。

◇ 地球環境の保全 ◇
 ～ 温室効果ガスの排出抑制・省エネルギー化の推進・新エネルギーの導入 ～

⑥ 《市民アンケート》日頃の生活で地球温暖化防止への取り組み状況



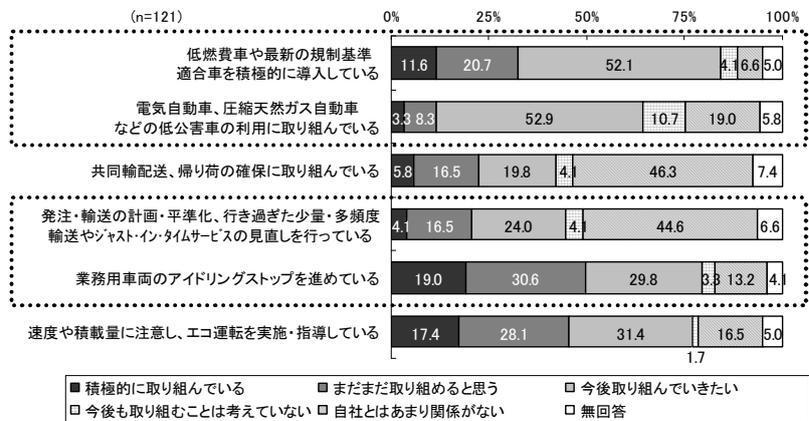
【市民の具体的行動の設定】

■ 温室効果ガスの排出抑制
 温室効果ガス排出抑制に対しては、市民生活では、車のエコ運転の意識が高いので、市民の行動目標は「自動車の運転時には、エコ運転を心がけます」としました。

■ 省エネルギーの推進
 現状でも「照明や電気をこまめに消す」、「冷暖房の控えめな運転」を実行しており、さらに意識を高めるため、「待機電力などもこまめにきり節電します」としました。

■ 新エネルギーの導入
 市民の意識は、新エネルギーについては、「太陽熱温水器の利用」、「太陽光発電、風力発電の利用」がとても低いため、行政の情報発信を含めて、「太陽光など新エネルギーの活用」としました。

⑦ 《事業所アンケート》 自動車の利用に際しての環境保全への取り組み状況



【事業所の具体的行動の設定】

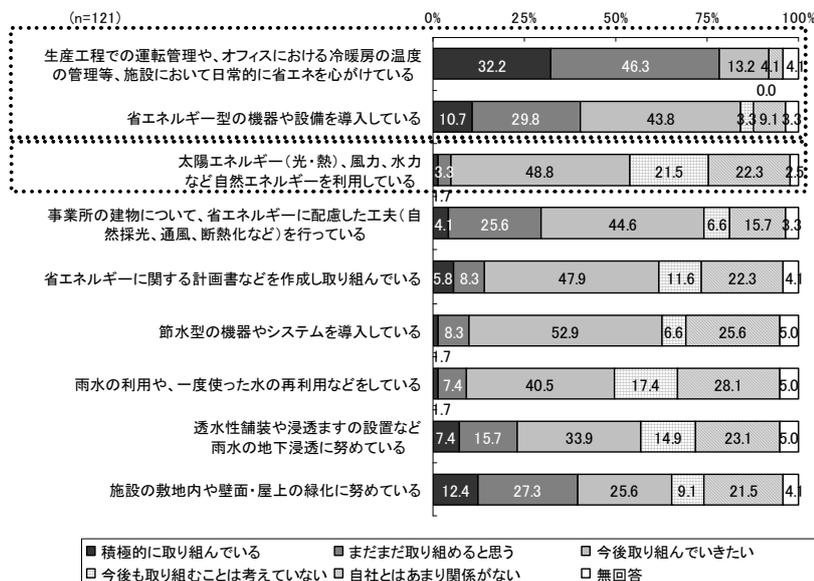
■ 温室効果ガスの排出抑制

事業所では、CO₂排出抑制に対して、「アイドリングストップやエコ運転」は現状でも積極的に実行しています。

そこで、「低燃費車や最新の規制基準適合車の導入」、「電気自動車、天然ガス車の利用」が、「今後取り組みたい」として、5割強の事業所が考えているため、具体的な行動は、「低公害自動車の利用など環境配慮に取り組みます」としました。

⑧ 《事業所アンケート》 エネルギーや水利用の環境保全への取り組み状況

【事業所の具体的行動の設定】



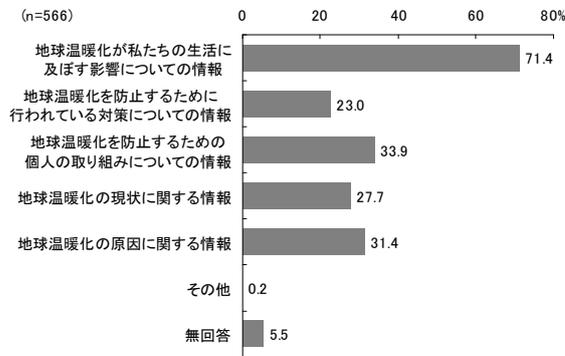
■ 省エネルギーの推進

「生産工程での運転管理や冷暖房の温度管理」では、日常的に省エネを実施しており、さらに具体的に行動してもらうため、「節電などすぐ出来る省エネ運動に取り組めます」としました。

■ 新エネルギーの導入

「太陽光・熱」、「風力・水力」など自然エネルギーの取組みは現状では少ないため、具体的な行動は、「新エネルギーの活用や導入の促進」、「クリーンエネルギー自動車を利用します」としました。

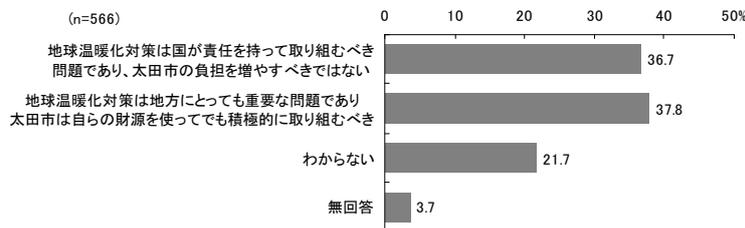
⑨ 《市民アンケート》地球温暖化問題に関する情報について（複数回答）



【行政の具体的行動の設定】

■ 温室効果ガスの排出抑制
 地球温暖化問題については、「生活に及ぼす影響の情報」を約7割の方が必要としており、行政としては、関心の高い生活に影響のある情報を発信し、市民の行動や意識を高めるため「地球温暖化に対する啓発を推進します」としました。

⑩ 《市民アンケート》地球温暖化に向けての太田市の姿勢について

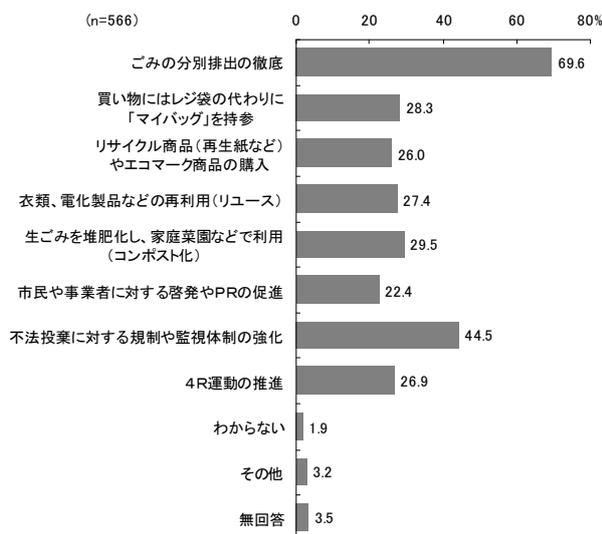


【行政の具体的行動の設定】

■ 省エネルギー化の促進
 ■ 新エネルギーの導入
 地球温暖化に対して市民は、太田市の姿勢を「国の取組みも重要だ」と考えていますが、「市の財源を使ってでも積極的に取り組むべき」がわずかに多く、行政として地球温暖化に対し、「省エネ活動の普及啓発をします」、「率先した公共施設の新エネの導入」、「公共施設や自動車等の天然ガスの利用を促進」を具体的な行動としました。

◇ 循環型社会の構築 ◇
 ～ ごみ減量・リサイクルの推進 ～

⑪ 《市民アンケート》 ごみの減量化への取組みの重要性（複数回答）



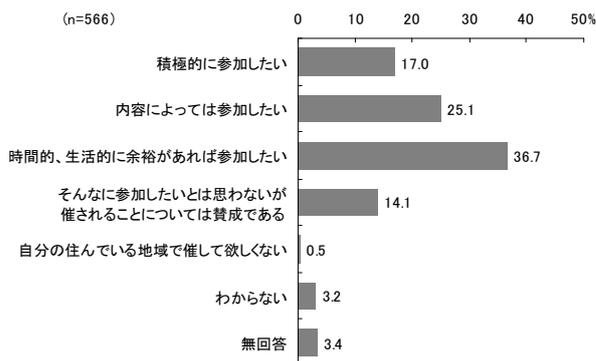
【市民・行政の具体的な行動の設定】

ごみ問題への取り組みとして、約7割の方が「分別排出の徹底」が重要と考えています。

また、ごみ減量の市民の具体的な行動は、分別排出の中でも焼却時に温室効果ガスが多く出る「プラスチック系ごみの分別排出」、リサイクルの推進については「ごみ出しルールに基づいた適正な分別方法を守る」としました。

また、行政としては、「市民や事業者に対する啓発やPRの促進」が、2割程度と少なく、認知度が低いようです。そこで、行政からの情報発信も、市民のごみ減量化の一助となるよう、行政の行動は「ごみ減量の意識啓発活動を展開する」としました。

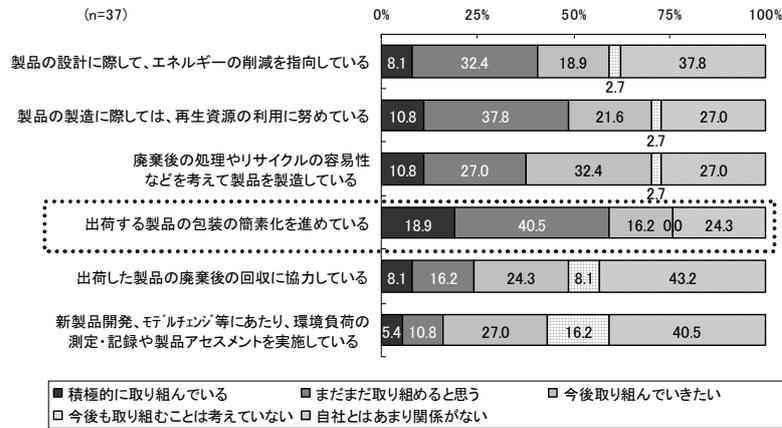
⑫ 《市民アンケート》 地域の清掃やリサイクル活動への参加意識（複数回答）



【行政の具体的な行動の設定】

お住まいの地域でのリサイクル活動への参加意識は、「積極的」、「内容によって」、「余裕があれば」を含めて「参加したい」と思う方をあわせるとは約8割に上りました。そこで、行政が、啓発活動を展開することで、より多くの方のリサイクル活動への参加を促すことができそうです。

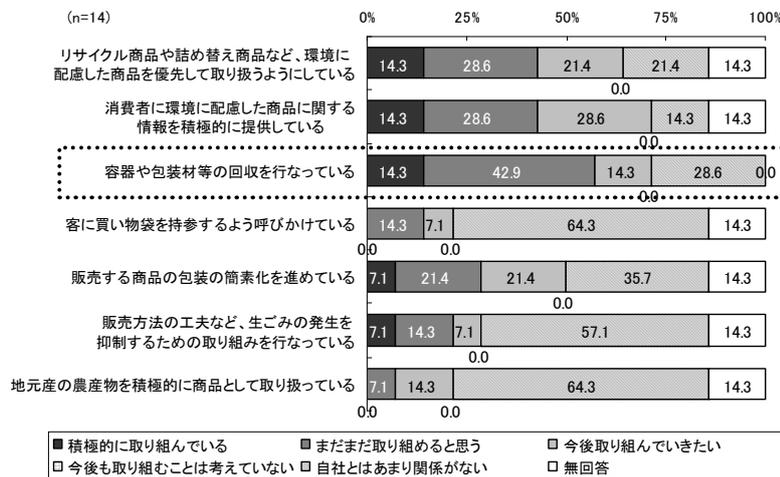
⑬ 《事業所アンケート》 製造業が製品の開発・設計時における環境配慮



【事業所の具体的行動の設定】

「出荷する製品の包装の簡素化」が、「積極的」、「まだまだ取り組めると思う」を含めて、約6割を超えています。事業所の取り組みとしては、意識がとても高いため、今後も取り組んでもらえるよう具体的な行動目標は、「**過剰包装をしないよう努めます**」としました。

⑭ 《事業所アンケート》 卸・小売業が商品流通・販売時における環境配慮

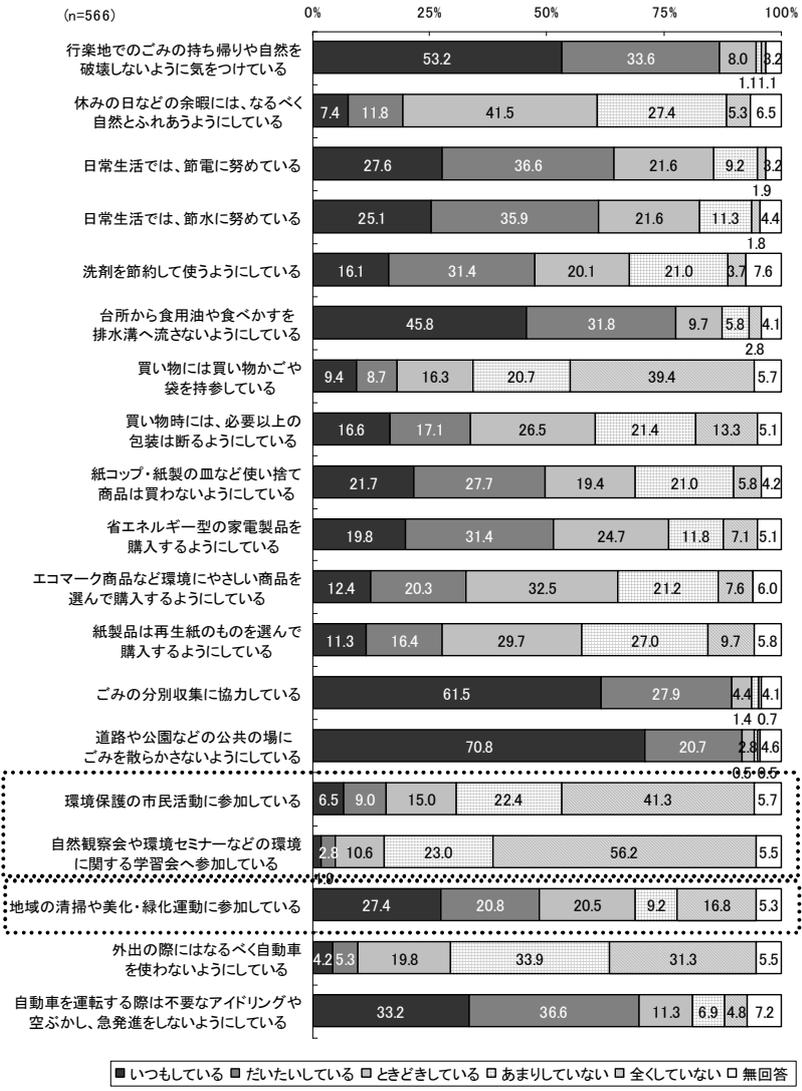


【事業所の具体的行動の設定】

「容器や包装材等の回収を行なっている」が、「積極的」、「まだまだ取り組めると思う」を含めると、5割を超えています。今後も、資源の再利用を促すため、事業者のリサイクル活動への行動目標は、「**資源ごみは店頭回収します**」としました。

◇ みどりの保全と創造 ◇
 ～ みどりの保全と創造・環境美化環境保全活動の推進・生活環境の保全 ～

⑮ 《市民アンケート》日頃の生活で環境保全への取り組み状況



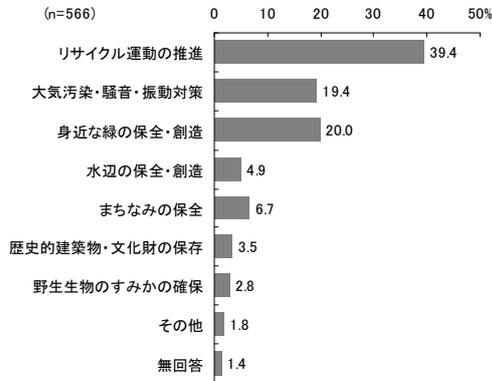
【市民の具体的行動の設定】

■みどりの保全と創造 ■環境美化・環境保全活動の推進

日頃の生活の中でみどりや環境保全への取り組みは、「地域の清掃や美化・緑化運動に参加」が、「いつもしている」、「だいたいしている」、「ときどきしている」をあわせると、約7割の方が実行しています。みどりの保全（特に緑化）については、「市、地域で行う緑化運動に協力します」としました。また、環境美化・環境保全活動の推進についても同様に、「地域の美化運動に積極的に協力します」としました。

・自然環境の体験学習については、「環境保護の市民活動に参加」、「環境に関する学習会への参加」とともに、「全くしていない」が多く、市民の自然体験の機会を増やし、自然環境への関心を高めてもらうため「体験型学習会へ積極的に参加します」としました。

⑩ 《市民アンケート》 太田市の環境保全に必要な行動について

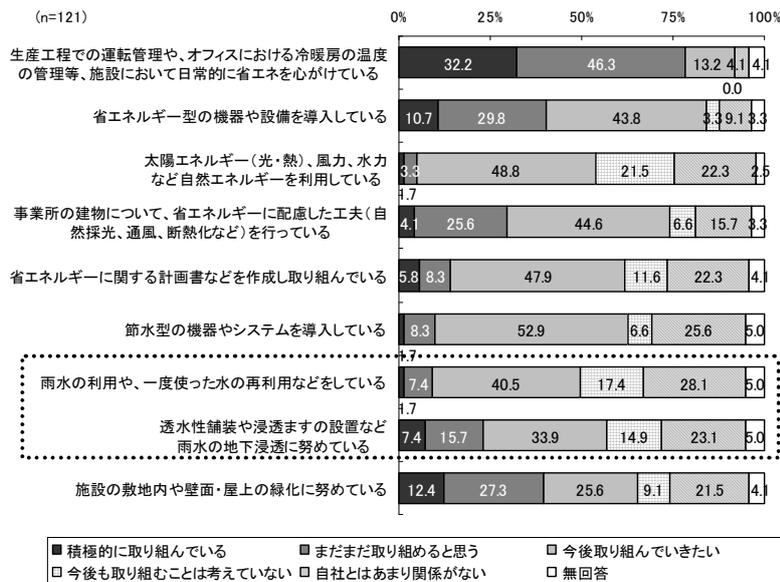


【市民の具体的行動の設定】

■ 新田湧水池保全整備について

太田市の環境で「水辺の保全・創造」は、約5%と低く、新田地区の新田湧水池群について、太田市全域に広く認知してもらうため、「湧水は市の貴重な財産と考えます」としました。

⑪ 《事業所アンケート》 エネルギーや水利用の環境保全への取り組み状況



【事業所の具体的行動の設定】

■ みどりの保全と創造

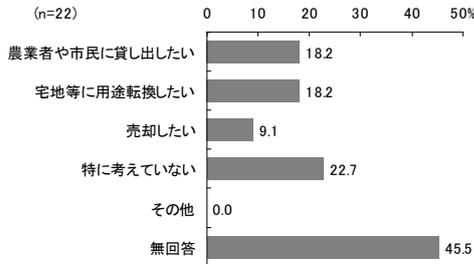
事業所では、「施設の敷地内の緑化に努めている」は、「積極的」「まだまだ取り組めると思う」をあわせても約4割程度と低いため、事業所の積極的なみどりの保全への取り組みを促すため、具体的な行動も「敷地内、周辺の緑化に努めます」としました。

・新田地域湧水池保全整備については、「雨水の利用や水の再利用」、「雨水の地下浸透に努める」が、「積極的に取り組んでいる」が少ないため、事業所には水を有効活用し、湧水を保全するため、「地下水の汲み上げを抑制します」を具体的行動としました。

『アンケート結果の概要』

⑱ 《農業者アンケート》 遊休農地の活用方法（遊休農地のある方）

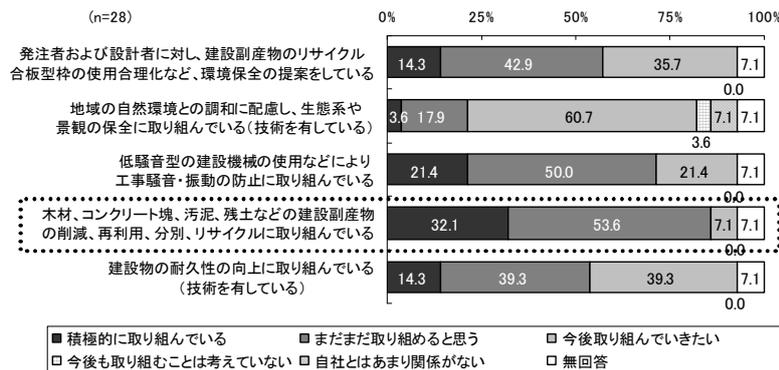
【事業所（農業者）の具体的行動の設定】



■ 自然環境・体験学習

「特に考えていない」が多いが、「遊休農地を市民に貸したい」という方もいるため、具体的行動を「**休耕地を利用した体験農場の場を提供します**」として、遊休農地を効果的に活用し体験型学習を実施していきます。

⑲ 《事業所アンケート》 建築物の建築・解体にあたっての環境保全への対策

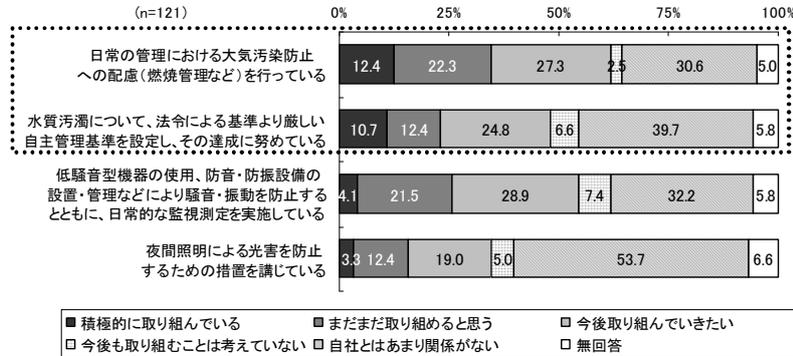


【事業所の具体的行動の設定】

■ 環境美化・環境保全活動の推進

現状でも「**建築副産物の削減、再利用、分別、リサイクル**」は、比較的意識も高く、実行していますが、市への苦情で不法投棄がまだ比較的多いことから、今後の具体的行動は、「**法律に基づき廃棄物を適正に処理します**」としました。

⑳ 《事業所アンケート》 大気汚染・水質汚濁などの公害防止についての環境保全への対策



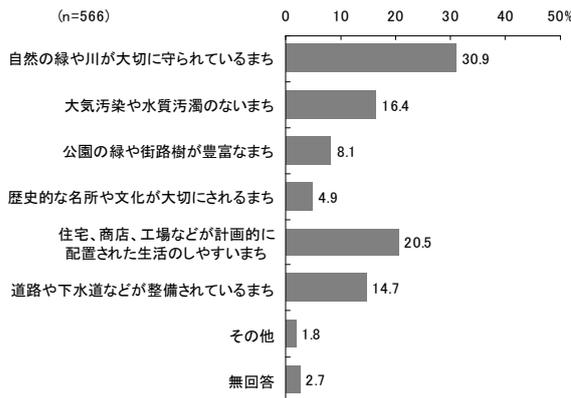
【事業所の具体的行動の設定】

■ 生活環境の保全

大気汚染や水質汚濁について、「積極的な取り組み」は1割程度にとどまっており、事業所の具体的な行動は、「法令、条例等に基づく規制を遵守します」としました。

㉑ 《市民アンケート》 大切にしたい太田市の環境に関する将来像

【行政の具体的行動の設定】



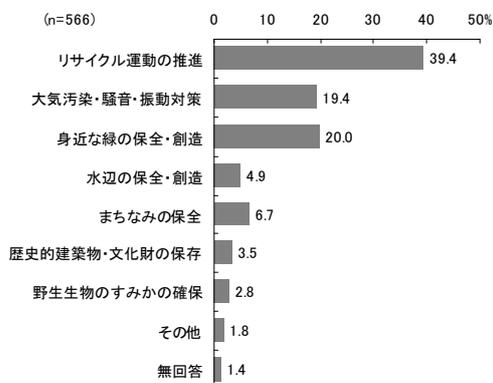
■ みどりの保全と創造

「自然の緑や川が大切に守られているまち」が約3割と多数を占め、行政としては、みどりの保全について、「みどりのネットワークを構築していきます」として、市民と一体となった保全活動を促します。

・ 新田地域湧水の保全について

自然の緑や川と同様に湧水についても太田市の大切な将来像と考え「湧水調査を実施し保全整備を行います」としました。

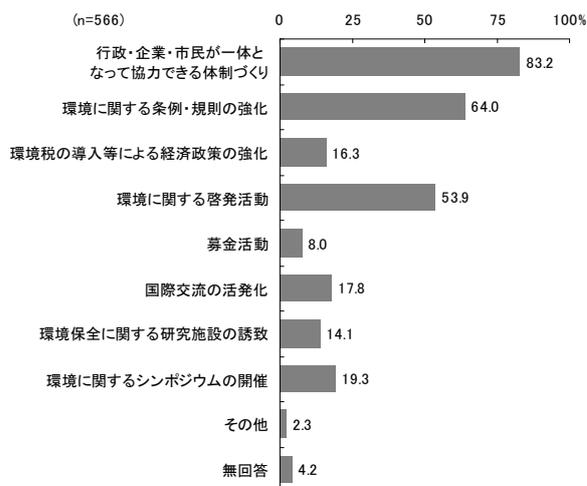
㉔ 《市民アンケート》 環境保全に必要な行動について



【行政の具体的行動の設定】

・自然環境実態調査について
 「リサイクル運動の推進」に次いで「身近な緑の保全・創造」が高く、自然環境に対して現状を把握するため、行政としては、「監視や調査を実施します」とし、継続的な保全を行えるよう調査していきます。

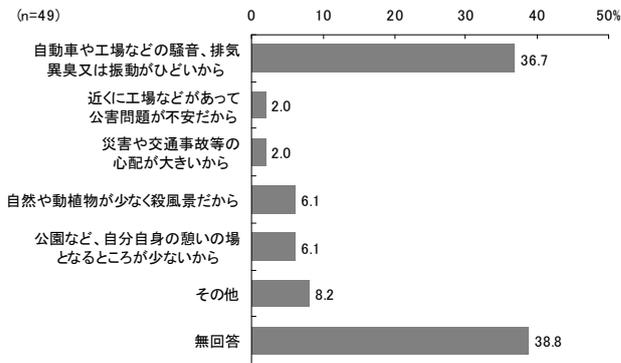
㉕ 《市民アンケート》 環境問題の解決に向けて重要なこと（複数回答）



【行政の具体的行動の設定】

■環境美化・環境保全活動の推進
 「行政・企業・市民の協力体制づくり」が重要と8割以上の方が考えており、行政の取り組みとしては、「クリーン作戦を継続し、ポイ捨てをしない環境をつくれます」として、地区ごとに行政と企業と市民の協力体制をつくり、活動を推進します。

④ 《市民アンケート》周辺環境が良くないために転居を考えている理由（条件付設問）



【行政の具体的行動の設定】

■生活環境の保全

現在の住まいに関して転居を考えている理由（周辺環境が良くないと答えた方）が、「騒音や悪臭・振動がひどい」と答えている方が多く、環境基準を達成し、生活環境を保全するため、行政としては、「**経年的な監視や調査を行い、情報公開及び改善策を立てます**」を具体的行動として、周辺環境の保全に努めます。